

# 委員会会議録

(一社) 滋賀県トラック協会

会議名	令和2年度 第2回 適正化事業運営委員会
開催日時	令和2年 10月28日(水) 10:00~11:40
開催場所	滋賀県トラック総合会館 3階 「会議室」
出席者	委員:13名、事務局:5名

## 協議内容

定刻に開会。

### 1. 挨拶

開会にあたり田中本部長より挨拶があり、続いて、甲斐切委員長が挨拶された後、議長となり議事に入った。

### 2. 議題

#### (1) 適正化実施機関の活動状況について

事務局より資料P1~15に基づき説明。下記意見があげられた。

- ・「標準的な運賃」にかかるセミナーについて、出席者91名だが、事業者単位で見ると約80社となり、全会員の1割程度である。当日欠席も多い。もう一度開催したほうがいいのではないか。

→近畿トラック協会から説明会の資料とDVDを配布する予定である。また、対象は基本的に滋賀県本社の事業者となる。

- ・現状のトレーラの運賃より「標準的な運賃」の方が低い。海上コンテナに合わせているからではないか。

- ・新規指導講習会の対象は許可後の事業者なのか許可前の事業者なのか。

→許可後の事業者が対象である。

- ・巡回指導の際に社会保険未加入の指摘がある事業者は名義貸しではないのか。

→ドライバーが加入を拒否する。ダブルワークしている等の理由の事業者があり、一概には言えない。また、未加入事業者については滋賀運輸支局に報告を行っている。

#### (2) 当面の事業計画について

事務局より資料P16~18に基づき説明。

### (3) その他

事務局より資料P 19以降に基づき説明。下記意見があげられた。

- ・「標準的な運賃」の告示自体を知らない事業者が多い。まずは事業者が認識し、荷主へ展開するべきである。
- ・現状では届出率が近畿では0.3%、全国でも0.8%しかない。まずは届出を先にし、荷主との交渉にあたるべきではないか。
- ・会員が理解することが第一である。DVDは配布しても見てもらえない可能性がある。協会でもう一度、もしくは支部単位で説明会を実施してはどうか。
- ・講師は日通総研(株)大島氏の都合が悪い場合は全日本トラック協会の担当者でもよいのではないか。

以上の意見を受け、1月までに再度協会で開催する方向で検討し、支部でも事業者に参加するように促してもらうこととなった。

以上で議事が終了し、須山副委員長にて閉会の挨拶があり閉会となった。

次回は1月後半の様子をみて開催予定。

以上